

幸せはシャンソニア劇場から (2008)

FAUBOURG 36
PARIS 36

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽

製作国 フランス/ドイツ/チェコ

色彩 Color

時間 120分

初公開日 2009/09/05

公開情報 日活

映倫 G

【キャッチコピー】

そして、幕が開く——再び笑顔があふれだす。

【解説】

「コーラス」のクリストフ・バラティエ監督が第二次大戦前夜の激動のパリを舞台に、不況で閉館に追い込まれたミュージック・ホールの再建に尽力する人々の心温まる物語を、劇中で披露される華麗なショーの数々とともにハートフルかつノスタルジックに綴る音楽人情ストーリー。主演は「バティニョールおじさん」のジェラルド・ジュニョ。また、新人歌姫ドゥースを演じたノラ・アルネゼデールは本作で一躍フランス期待の若手スターとなった。

1936年、パリ。長年パリっ子たちに愛されてきた下町のミュージック・ホール“シャンソニア劇場”も不況のあおりでついに閉館に。裏方としてこの劇場に人生を捧げてきたピゴワルは悲嘆の中で酒に溺れる日々。そんな父に代わって健気な息子ジョジョが得意のアコーディオンで日銭を稼ぐが、ほどなく警察に見つかってしまう。失業中のピゴワルは保護者失格と言われ、ジョジョは別れた元妻が引き取ることに。最愛の息子を取り戻すため、ピゴワルは劇場の再建を決意、新オーナーを説得して一ヶ月間の猶予を手に入れると、かつての仲間たちとシャンソニア劇場復活に立ち上がるが…。

【クレジット】

監督	クリストフ・バラティエ	Christophe Barratier	
製作	ジャック・ペラン ニコラ・モヴェルネ	Jacques Perrin Nicolas Mauvernay	
脚本	クリストフ・バラティエ ジュリアン・ラプノー	Christophe Barratier Julien Rappeneau	
撮影	トム・スターン	Tom Stern	
編集	イヴ・デシャン	Yves Deschamps	
作詞	フランク・トマ	Frank Thomas	
音楽	ラインハルト・ワーグナー	Reinhardt Wagner	
出演	ジェラルド・ジュニョ	Gerard Jugnot	ピゴワル
	クロヴィス・コルニアック	Clovis Cornillac	ミルー
	カド・メラッド	Kad Merad	ジャッキー
	ノラ・アルネゼデール	Nora Arnezeder	ドゥース
	ピエール・リシャル	Pierre Richard	ラジオ男
	ベルナール・ピエール・ドナデュ	Bernard Pierre Donnadieu	ギャラピア
	マクサンス・ペラン	Maxence Perrin	ジョジョ

フランソワ・モレル

エリザベート・ヴィタリ

フレデリック・パパリア

Francois Morel

Elisabeth Vitali

Frédéric Papalia